

前線の通過と天気の変化(2)

名前

1 次の文章は、前線と天気の変化についての説明である。()に当てはまる言葉を書くか、○でかこみなさい。

- (1) 大陸上や海上などの広い場所に長い時間空気がとどまると、気温や湿度が一様になった大規模な空気のかたまりができる。この空気のかたまりのことを(① 気団・気候)という。
- (2) 寒気(冷たい空気)と暖気(暖かい空気)が接すると、(すぐには混じり合わない・すぐに混じり合う)。このときにできる境の面を(②)といい、②と地表がまじわるところを(③)という。
- (3) 寒気は冷たくて(重い・軽い)ため、下にもぐり込もうとし、暖気は暖かくて(重い・軽い)ため、上にはい上がろうとする。このため前線付近では(上昇・下降)気流が生じ、雲が(できにくい・できやすい)。
- (4) 寒気側に向かって暖気が進む前線を(④)という。④の付近では暖気が寒気の上をはい上がる。前線面の傾きはゆるやかで、広範囲に乱層雲や高層雲などの雲ができるため、(弱い・強い)雨が(短時間・長時間)降ることが多い。
- (5) ④が通過すると、南寄りの風が吹き、気温が(上がる・下がる)。
- (6) 暖気側に向かって寒気が進む前線を(⑤)という。⑤の付近では寒気が暖気の下にもぐり込み、暖気を急激に押し上げて強い上昇気流を生じさせ、積乱雲が発達するため(弱い・強い)雨が(短時間・長時間)降ることが多い。
- (7) ⑤が通過すると、北寄りの風が吹き、気温が(上がる・下がる)。
- (8) 暖気と寒気の勢いがほぼ同じである場合、前線はほとんど動かない。このような前線を(⑥)という。
- (9) 寒冷前線は温暖前線と比べて速く進むため、温暖前線にやがて追いつき低気圧の中心付近で重なることがある。このようにしてできる前線を(⑦)という。
- (10) 日本付近のような温帯でできる低気圧のことを(⑧)という。
⑧は西側に寒冷前線、東側に温暖前線をともなっていることが多い。

2 右の日本付近の天気図を見て、以下の問題に答えなさい。

- (1) AとBはそれぞれ高気圧と低気圧のどちらか。
- (2) ア～エの地点の天気を書きなさい。

(1)	A		B	
(2)	ア		イ	
	ウ		エ	

